学校番号	３０１３

令和８年度　工業科（建築設備系）

教科	工業科	科目	建築法規	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	建築法規(実教出版)						
副教材等	建築関係法令集　(総合資格学院　編)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築基準法を中心に、関連するその他の法令や規定について理解・習得することにより、安全な建築物の設計や施工をするための意義と内容を理解していきましょう。また、法解釈の基礎的な能力を習得し、建築士などの資格の試験にも法律に関する問題が出るので、理解をしておきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・建築法規を包括的に学習し，建築生産に役立つ実践的な知識を身につけ，建築法規に関する知識を建築物の設計や施工にかかわる業務に活用できる。
【思考力、判断力、表現力等】
・建築法規の役割について思考を深め，種々の事例に対して知識・技能を生かして適切に判断し，建築の計画・設計・施工などの学習において的確に表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】
・建築物や都市生活の安全性，良好な都市環境を保つ観点などから，建築法規の必要性や諸問題などについて幅広く関心をもち，主体的に学習に取り組んでいる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築の関連法規を包括的に学習し，建築物の構想の具現化に役立つ実践的な知識を身につけるとともに，建築法規のもつ意義や効果を理解している。	建築物や都市生活の安全性，良好な都市環境を保つ観点などから，建築法規の必要性や諸問題などについて幅広く関心をもち，建築の計画や設計などの実践的な学習に役立てようとしている。	建築法規に関する基礎的・基本的な判断技術を身に付け、基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	建築法規のあらまし 個々の建築物にかかわる規定	・建築基準法の意義 ・法規の体系と構成 ・建築基準法の用語と面積算定 ・一般構造 ・構造強度 ・防火と避難 ・建築設備に関する規定	a:建築法規に関する語句や概念を理解している。 b:関連法規の条文理解・解釈・法律用語と建築専門用語との関係を考えようとしている。設計・施工管理に必要な法規を理解し、検討・判断することができる。 c:法令集を活用し、課題に関する条文を探すことができ、主体的に問題の取り組み、建築の法令を自身で活用することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート
2学期	良好な都市環境をつくるための規定	・都市計画法 ・都市の利用 ・道路と敷地の関係 ・密度や形態に関する規定 ・良好なまちづくり	a:建築法規に関する語句や概念を理解している。 b:関連法規の条文理解・解釈・法律用語と建築専門用語との関係を考えようとしている。設計・施工管理に必要な法規を理解し、検討・判断することができる。 c:法令集を活用し、課題に関する条文を探すことができ、主体的に問題の取り組み、建築の法令を自身で活用することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート

3学期	手続きなどの規定　各種関係法規	・手続きのあらまし ・各手続きに関する機関 ・着工前、工事中、使用中などの手続き ・その他諸制度について ・企画段階に関する法規 ・工事段階に関する法規 ・その他の法規	a:建築法規に関する語句や概念を理解している。 b:関連法規の条文理解・解釈・法律用語と建築専門用語との関係を考えようとしている。設計・施工管理に必要な法規を理解し、検討・判断することができる。 c:法令集を活用し、課題に関する条文を探すことができ、主体的に問題の取り組み、建築の法令を自身で活用することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト グループワーク	提出ノート グループワーク 振返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度